



岩手労働局発表  
令和2年1月15日

【照会先】

岩手労働局労働基準部健康安全課  
課長 高橋 友行  
課長補佐 和野内 利幸  
(電話) 019 - 604 - 3007

## 2019年1月～12月分(速報値)の 労働災害発生状況を公表します

～2019年(1月～12月)の死傷者数は、前年同期比0.8%の増加～

岩手労働局(局長 おしか まさや 小鹿 昌也)は、2019年1月～12月の県内の全業種における労働災害による死傷者数(休業4日以上)及び死亡者数の状況を取りまとめました。

2019年1月～12月(12月末現在の速報値)の死傷者数は1,268人となり、前年同期比で10人(0.8%)の増加、死亡者数は8人と前年同期比で7人の減少となっています。

(業種別等の発生状況は以下のとおりとなっています。)

### 2019年(1月～12月)の労働災害発生状況(2019年12月末現在 速報値)

#### 1 死傷災害(休業4日以上)【表1】(P.3) 【グラフ1】(P.6) 【グラフ2】(P.7)

##### (1) 全業種合計

全業種合計の死傷者数は1,268人(速報値)で、前年同期比で10人(0.8%)増加となっています。

##### (2) 業種別の状況

前年同期比で増加した業種は、「保健衛生業」130人(前年同期比+28人、+27.5%)、「商業」180人(前年同期比+24人、+15.4%)などとなっています。

前年同期比で減少した業種は、「製造業」249人(前年同期比-31人、-11.1%)、「建設業」238人(前年同期比-20人、-7.8%)、「運輸交通業」135人(前年同期比-14人、-9.4%)などとなっています。

( 3 ) 事故の型別状況

全業種において、最も多い事故の型は「転倒」によるもので、341 人 ( 26.9% ) となっています。次いで、「墜落・転落」206 人 ( 16.2% )、「はさまれ・巻き込まれ」153 人 ( 12.1% ) となっています。

2 死亡災害 【表 2】(P. 4)、【表 3】(P. 5)

( 1 ) 全業種合計

全業種合計の死亡者数は 8 人で、前年同期比 ( 12 月 31 日までに報告のあった人数 ) で 7 人減少しました。

( 2 ) 業種別の状況

業種別では「建設業」で 6 人、「運輸交通業」「その他の事業」で各 1 人となっています。

[表1]

2019年労働災害発生状況(休業4日以上の死傷者数)

2019年 1月~12月

岩手労働局

業種	岩手局		増減数	増減率	盛岡署	宮古署	釜石署	花巻署	一関署	大船渡署	二戸署	
	2019年	2018年										
製造業	食料品	24	30	-6	-20.0%		5	4		1	13	1
	上記以外の食料品	79	88 (3)	-9	-10.2%	27	1	2	22	10	2	15
	繊維・衣服その他繊維製品	8	10	-2	-20.0%				5	1	1	1
	木材・木製品、家具・装備品	30	38	-8	-21.1%	5	7		3	1	6	8
	パルプ・紙、印刷・製本	10 (1)	7	3	42.9%	6 (1)			1	3		
	化学工業	12	16	-4	-25.0%	5			3	4		
	窯業土石	9	12 (1)	-3	-25.0%	1	1	1	1	3		2
	鉄鋼業、非鉄金属	4	10	-6	-60.0%	2			1	1		
	金属製品	28	18	10	55.6%	12			11	4	1	
	一般機械器具	9	12	-3	-25.0%			1	7	1		
	電気機械器具	12	8	4	50.0%	1	1	1	7	2		
	輸送用機械製造	11 (1)	10	1	10.0%	1 (1)			2	5	1	2
	電気・ガス	1 (1)	2	-1	-50.0%	1 (1)						
	その他の製造	12	19	-7	-36.8%	3		2	4		3	
	小計	249 (3)	280 (4)	-31	-11.1%	64 (3)	15	11	67	36	27	29
総業	2	2	0	0.0%		1	1					
建設業	土木工事	92 (4)	97 (6)	-5	-5.2%	21	18	6 (1)	20 (1)	8	7	12 (2)
	鉄骨・鉄筋家屋	19 (3)	20 (2)	-1	-5.0%	6 (3)	2		7		1	3
	木造家屋	59 (3)	63 (1)	-4	-6.3%	15	7 (1)	2	14 (2)	6	7	8
	その他の建築工事	35 (1)	44 (4)	-9	-20.5%	15 (1)	3	1	14	2		
	その他の建設	33 (8)	34 (3)	-1	-2.9%	6	2	3	13 (6)	3	4 (2)	2
小計	238 (19)	258 (16)	-20	-7.8%	63 (4)	32 (1)	12 (1)	68 (9)	19	19 (2)	25 (2)	
運輸交通業	道路貨物運送業	121 (6)	132 (11)	-11	-8.3%	56 (5)	3	1	38 (1)	11	3	9
	その他の運輸交通業	14 (1)	17 (1)	-3	-17.6%	10	1		3 (1)			
貨物取扱	1	1	0	0.0%	1							
農林業	農業	8	10	-2	-20.0%	4			2	1	1	
	林業	42	40	2	5.0%	11	10	3	2	4	3	9
	畜産業	60	48	12	25.0%	24	1	1	13	6	1	14
	水産業	9	9	0	0.0%		1	4			4	
商業	小売業	139 (17)	121 (12)	18	14.9%	66 (7)	7	8	34 (7)	14 (3)	1	9
	その他の商業	41	35 (5)	6	17.1%	19	2		12	3	2	3
通信業	社会福祉施設	18 (7)	30 (14)	-12	-40.0%	5 (1)	2 (1)	4	4 (2)	3 (3)	2	2
	その他の保健衛生業	106 (5)	91 (5)	15	16.5%	33 (2)	5	4	33 (1)	10	12 (1)	9 (1)
	旅館業	24 (2)	11	13	118.2%	14 (1)	1		6 (1)	3		
	飲食店	32	7	17	242.9%	12	2	4	6			
娯楽業	その他の娯楽業	10	19 (1)	-9	-47.4%	5	1	3	5	2	1	3
	ビルメンテナンス業	35	30	5	16.7%	22	1	2	6	4	1	1
その他	その他(上記以外の全ての業種)	95 (12)	97 (13)	-2	-2.1%	37 (4)	7 (1)	2	16	10 (1)	5 (2)	18 (4)
	合計	1,268 (72)	1,258 (83)	10	0.8%	463 (27)	92 (3)	77 (1)	319 (22)	126 (7)	81 (5)	131 (7)
					446 (32)	81 (7)	77 (1)	300 (16)	134 (6)	81 (4)	139 (17)	
					17	11	-21	19	-8	0	-8	
					3.8%	13.6%	-27.3%	6.3%	-6.0%	0.0%	-5.8%	

(注) 2019年12月末の速報値である。数字は死傷者数(内数)、( )数字は交通労働災害(内数)である。

【表2】

## 2019年 死亡災害発生状況（12月31日 現在）

岩手労働局

番号	署別	業種	発生日	性別	年齢 (経験期間)	事故の型	起因物	災害発生の概要
1	一関	運輸交通業 (一般貨物自動車運送業)	1月	男	70歳代 (10年以上 20年未満)	飛来、 落下	解体用機械	解体用機械でFRP製タンクの破砕作業中、つかみ具でタンク内部の鋼管（直径5cm、20kg）の輪3つを楕円状につぶすため、2つの輪をつかんだ際、1つが横方向に飛び、被災者の腹部に激突した。
2	宮古	建設業 (道路建設工事業)	3月	男	40歳代 (20年以上 30年未満)	墜落、 転落	締固め用機械	被災者がロード・ローラーを運転中、路肩からロード・ローラーごと転落、傾斜40度の法面を5.6m下った所の擁壁上でロード・ローラーの下敷きになった。
3	二戸	建設業 (トンネル建設工事業)	3月	男	20歳代 (1年以上 10年未満)	崩壊、 倒壊	地山、岩石	トンネル建設工事の切羽において一次コンクリート吹付後、支保工の建て込み準備をしていたところ、切羽左上部から岩塊（1m位）が2回に分けて落下した。
4	大船渡	建設業 (土地整理土木工事業)	3月	男	40歳代 (20年以上 30年未満)	はさまれ、 巻き込まれ	その他の 建設機械等	鶏舎2階と高台に架かる通路橋（傾斜していて、幅4m×長さ20m）の下を舗装する工事にて、アスファルトフィニッシャーを運転し、通路橋の下へ後進させたところ、通路橋の横梁（高さ1.5m）とアスファルトフィニッシャーの車体（高さ1.8m）との間に運転手が上半身を挟まれた。
5	盛岡	その他の事業 (その他)	4月	男	50歳代 (10年以上 20年未満)	飛来、 落下	フォークリフト	出張先の構内でプレス機械（800kg）移設のため、フォークリフト（最大荷重2t）を使用して搬送作業中、床面の段差（最大4.5cm）を通過した際プレス機械が横転し、誘導をしていた被災者が建物の壁とプレス機械に挟まれた。
6	花巻	建設業 (木造家屋建築工事業)	8月	男	30歳代 (1年以上 10年未満)	交通事故 (道路)	乗用車、 バス、バイク	大船渡の工事現場で電気・配管工事終了後、北上市の新築工事現場に向かうため、ワゴン車で国道107号を移動中、被災者が運転していたワゴン車が対向車線にはみ出し、トラックに正面衝突した。
7	花巻	建設業 (その他)	10月	男	50歳代 (1年以上 10年未満)	転倒	通路	営業業務から帰社し、打ち合わせを行った後、駐車場でバランスを崩し転倒。コンクリート面の後頭部を打ち付け、硬膜外血腫により死亡。
8	一関	建設業 (河川土木工事業)	12月	男	60歳代 (1年以上 10年未満)	おぼれ	水	工所用仮設道路建設作業の休憩後、周囲の確認作業中に姿が見えなくなつたので、同僚が捜したところ、水門排水通管の横坑で溺れている被災者を発見した。

【表3】

## 2019年 死亡災害発生状況（事故の型別等）

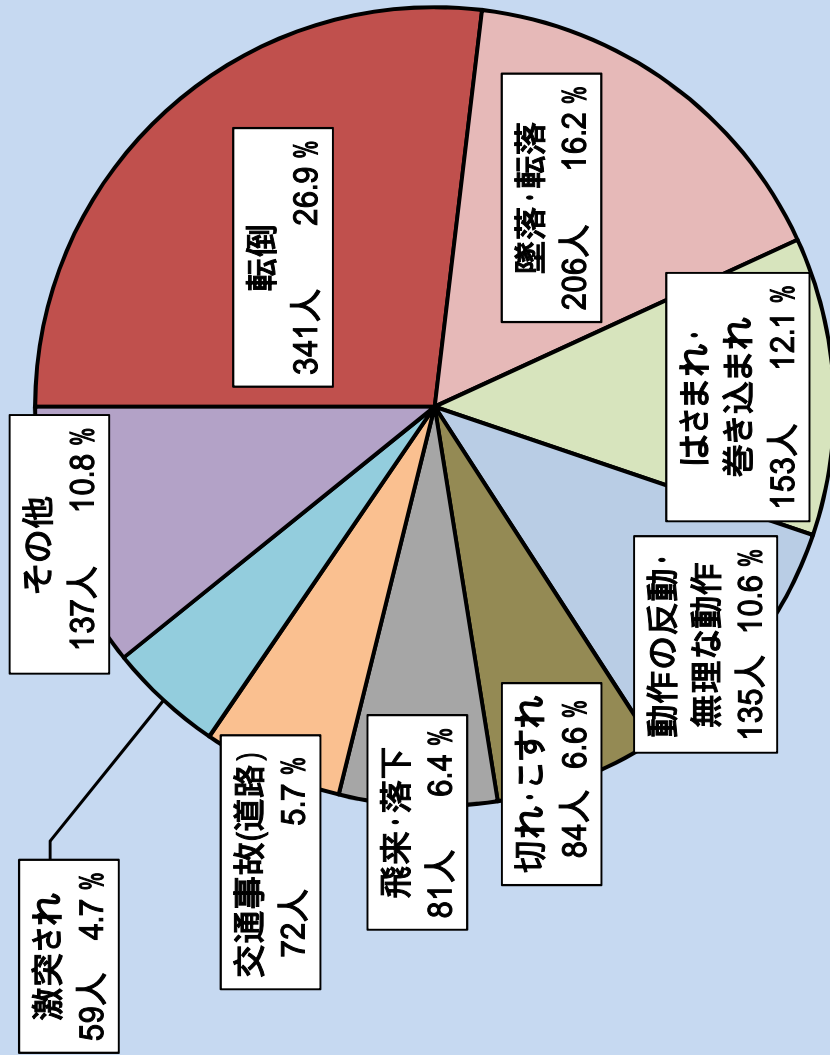
12月31日現在

業種別	製造業 0人 (2人)	鉱業 0人 (0人)	建設業 6人 (9人)	運輸業 1人 (0人)	林業 0人 (2人)	商業 0人 (0人)	左記 以外 1人 (2人)
監督署別	盛岡 1人 (2人)	宮古 1人 (2人)	釜石 0人 (2人)	花巻 2人 (2人)	一関 2人 (0人)	大船渡 1人 (2人)	二戸 1人 (5人)
事故の型別	墜落・ 転落 (5人)	転倒 1人 (2人)	飛来・ 落下 (1人)	崩壊・ 倒壊 (1人)	激突 され (1人)	はさまれ・ 巻き込まれ (2人)	切れ・ こすれ (0人)
	破裂 0人 (0人)	高温の物 との接触 0人 (0人)	激突 0人 (0人)	感電 0人 (0人)	有害物 等との 接触 0人 (0人)	交通事故 1人 (2人)	その他 1人 (1人)

8人  
(前年同期15人)

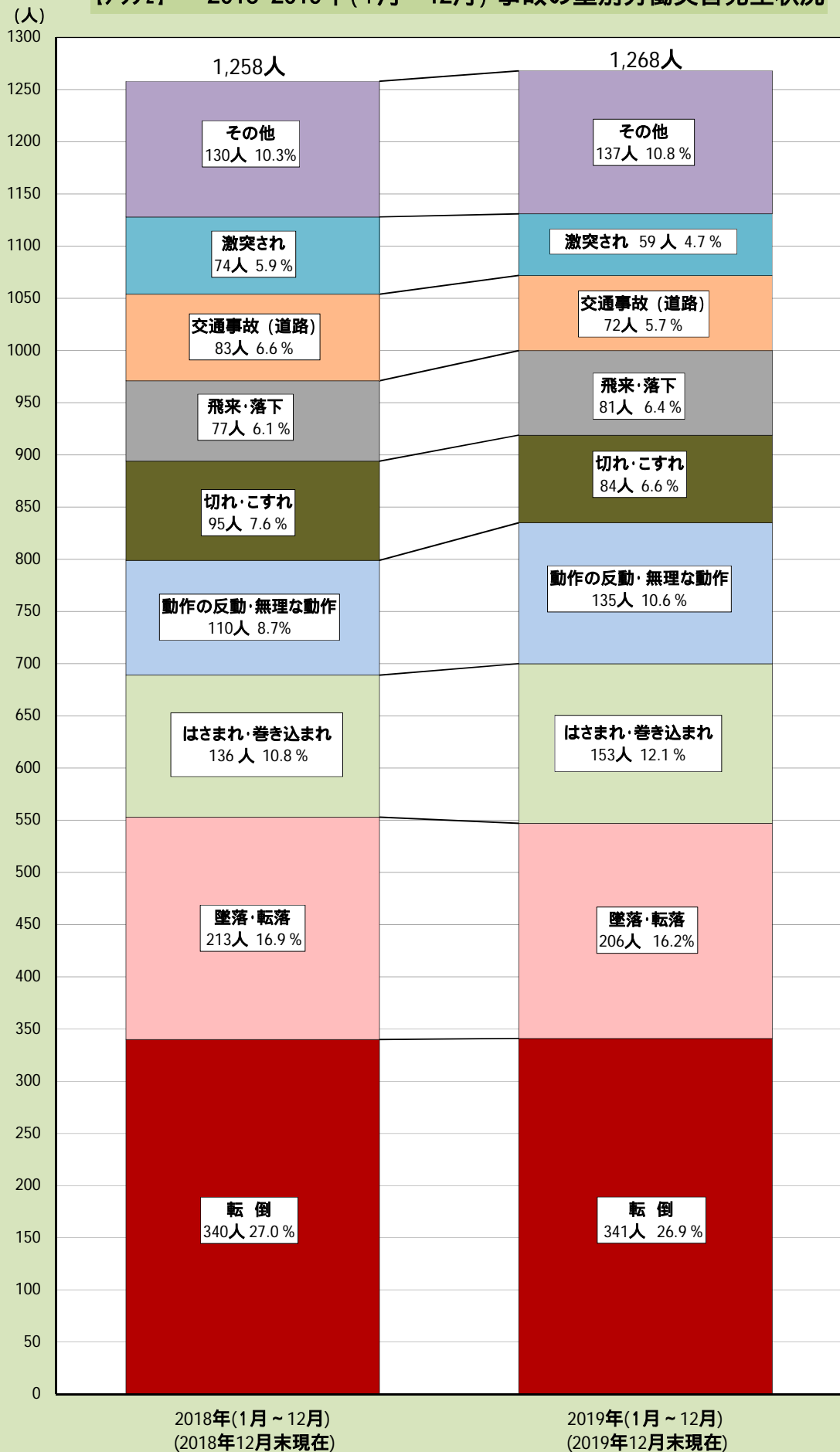
注：( )内は前年同期

【グラフ1】 2019年(1月～12月) 労働災害発生状況 (事故の型別)  
岩手労働局



2019年12月末の速報値である。  
○数字は死者数(内数)である。

【グラフ2】 2018・2019年(1月～12月) 事故の型別労働災害発生状況



【参考】

労働災害発生状況（休業4日以上の死傷者数）

2019年（2019年12月末統計）

岩手労働局

業種	当年 累計	前年 同期	対前年同期 増減数増減率	月別発生状況												
				1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
製造業	食料品	24	30	-6 -20.0%		3	1	5	4	4	1	2	2	1	3	2
	水産食料品															
	上記以外の食料品	79	88	-9 -10.2%	14	5	5	3	5	4	4	15	6	5	7	7
	繊維・衣服その他繊維製品	8	10	-2 -20.0%	2	2			1			2		1		
	木材・木製品、家具・装備品	30	38	-8 -21.1%	3	3	3	1	2	2		5	2	1	2	4
	パルプ・紙、印刷・製本	10	7	3 42.9%	1		1		2					2	4	
	化学工業	12	16	-4 -25.0%	2	2	1	2	1			2	1	2		
	窯業土石	9	12	-3 -25.0%	2	1	1	1	1							2
	鉄鋼業、非鉄金属	4	10	-6 -60.0%	1					1				2		
	金属製品	28	18	10 55.6%	4	5	1	2	1	4	3	3		2	3	2
	一般機械器具	9	12	-3 -25.0%	1	2	1	2	1	1			1	1	2	3
	電気機械器具	12	8	4 50.0%	2	2	1	2	1	1					1	
	輸送用機械製造	11	10	1 10.0%	1		3		1	1		2		2	1	
電気・ガス	1	2	-1 -50.0%			1	1									
その他の製造	12	19	-7 -36.8%	1	1	1	1	1			1	2	2	1	1	
小計	249	280	-31 -11.1%	34	24	20	19	18	14	31	15	20	18	24	20	
総業	2	2	0 0.0%	1						1						
建設業	土木工事	92	97	-5 -5.2%	9	6	13	7	1	8	10	6	3	10	9	
	鉄骨・鉄筋家屋	19	20	-1 -5.0%	3	3	5	2	1				1	3	3	
	木造家屋	59	63	-4 -6.3%	4	2	8	5	5	4	5	3	3	7	5	
	その他の建築工事	35	44	-9 -20.5%	4	2	3	2	1	1	6	3	5	4	4	
	その他の建設	33	34	-1 -2.9%	7	1	4	2	3	1	4	1	1	2	7	
	小計	238	258	-20 -7.8%	27	14	33	18	11	14	25	13	16	21	31	
	運輸	121	132	-11 -8.3%	10	15	13	11	11	7	10	11	11	9	13	
	道路貨物運送業	14	17	-3 -17.6%	3	2	3	1			1			1	1	
	その他の運輸交通業	1	1	0 0.0%												
	農林業	8	10	-2 -20.0%			1	1	1	2	3					
	林業	42	40	2 5.0%	4	4	6	4	3	7	1	1	1	2	3	
	畜産	60	48	12 25.0%	3	8	7	5	6	3	3	3	3	10	4	
	水産業	9	9	0 0.0%		1		2			1			1	2	
小売業	139	121	18 14.9%	26	16	15	9	13	18	8	6	6	7	7		
その他の商業	41	35	6 17.1%	3	3	7	6	1	5	3	5	5	2	1		
通信業	18	30	-12 -40.0%	1	2	3	1	3	1	1	3	2	2	1		
保健	106	91	15 16.5%	12	16	8	6	12	9	9	8	7	7	12		
社会福祉施設	24	11	13 118.2%	5	6	1	2	2	2	2	2	3	3	3		
衛生業	24	7	17 242.9%	2	3	4	1	3	3	2	4	4	1	1		
接客	32	20	12 60.0%	4	2	2	3	1	3	3	4	4	4	2		
娯楽業	10	19	-9 -47.4%	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1		
その他	35	30	5 16.7%	6	5	2	1	2	2	2	2	2	4	2		
合計	1,268	97	13	158	130	134	100	92	99	116	86	97	106	97		
対前年同期増減率			10	0.8%	10	0.8%	10	0.8%	10	0.8%	10	0.8%	10	0.8%		

（注）労働者死傷病報告による休業4日以上の統計である。  
内は死亡者数（内数）である。（ ）内は交通労働災害者数（内数）である。